



藤本 健太 議員

Q 町内の交通アクセスの今後は

A 町 長

持続可能な公共交通の実現のため、事業者や住民と連携しながら取り組む。

- 【Q 1】
おでかけ号を3台に増台した場合の予算は。
- 【A 1】
令和5年度決算で約1,250万円なので3台になると約4,000万円弱。
- 【Q 2】
おでかけ号運行での国や県からの補助は。
- 【A 2】
現在の運行方法では運営の財源はない。
- 【Q 3】
町内の民間業者と行政で運営できないか。
- 【A 3】
現時点では町内の民間事業者と一緒に運営する計画はない。
- 【Q 4】
交通空白地に居住する方への対応は。

- 【A 4】
各バス停からの250m圏内で居住地域の約9割はフォローできている。引き続き、おでかけ号の見直しにより利便性の向上に努める。
- 【Q 5】
3台に増台し東部、中部、西部と毎日運行させ、団地等、細やかな箇所までフォローし、町内を乗継で横断できるようにできないか。
- 【A 5】
幹線を走るバス業者を最優先とし、お出かけ号は二次交通としての役割のため現状は難しい。
- 【Q 6】
利用者だけでなく、町内全域でアンケートを取っていただきたい。
- 【A 6】
多くの方から徴取できる方法を検討する。

Q 今後の町内の交通渋滞の対応は

A 建設農林部長

県と連携しながら必要な対策を検討する。



▲県道矢野安浦線バイパスの供用開始区間

- 【Q 1】
今後の県道の予定は。
- 【A 1】
県においては県道矢野安浦線の熊野バイパス工区として出来庭の陣界交差点から萩原までの約1.3kmが事業箇所として位置付けられており、現在は出来庭の陣界交差点から県道瀬野呉線までの約300m区間について、事業地内にある建物の物件調査を進めるとともに、道上川を跨ぐ橋梁の下部工工事に着手している。
- 今後は、県道瀬野呉線までの区間の用地買収等を推進するとともに、事業進捗を考慮しながら、残る県道瀬野呉線から萩原までの約1kmについて事業を進めていくと伺っている。
- 【Q 2】
矢野安浦線バイパスから郷原苗代方面に抜

- ける道の渋滞対策は。
- 【A 2】
バイパスの整備により、陣界交差点がT字交差点から十字交差点へと交差点形状が変更され、交通量も変化する。円滑で安全な交通の確保に向けて、事業主体である広島県と交通管理者である公安委員会とも連携しながら、必要な対策を検討していく必要があると考えている。
- 【Q 3】
県道に関しては、本町独断でできないのは理解するが、町道に関してはしっかりと対応していただきたい。
- 【A 3】
事業が進められている県道矢野安浦線熊野バイパスの事業主体である広島県と連携しながら、交通量の変化など注視していく。

Q 小中不登校、いじめの現状、原因、対策は

A 教育長

学校や家庭、関係機関と連携し、未然防止や早期発見を図る。



竹爪 憲吾 議員

- 【Q 1】
不登校児、いじめの件数、原因は。
- 【A 1】
不登校児は微増。いじめは微減している。原因はどちらも複雑化、多様化し、特定することは難しい。
- 【Q 2】
不登校の対策は。
- 【A 2】
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを小中学校に配置し、家庭訪問等を行い、支援する体制を取っている。
- 両中学校では、スペシャルサポートルームを設置し、専属の教員を配置している。
- 少しでも学校に来て、自ら学びを進めるための環境を整備している。
- 【Q 3】
不登校支援として、他県では行っている専門のクリニックとの連携を考えると。
- 【A 3】
今後、動向を見ながら研究を行っていく。
- 【Q 4】
いじめへの対策は。
- 【A 4】
いじめに関するアンケート等を定期的に実施し、未然防止や早期発見の取り組みに努めている。
- 【Q 5】
今後の不登校・いじめ・校内暴力の対策は。
- 【A 5】
子ども達を誰一人取り残さない、繋がりを切らない取組に全力を挙げていく。

Q 郷土館の在り方を今後どうしていくのか

A 教育長

施設の保全や展示手法等研究し、地域文化の振興に寄与するよう管理運営する。

- 【Q 1】
郷土館の存在意義、必要性は。
- 【A 1】
本町の歴史や文化の展示や収蔵施設で、後世に伝えていく重要な施設である。
- 【Q 2】
今後の維持の方法は。
- 【A 2】
点検や情報収集を含めた現状の管理体制を確保していく。
- 【Q 3】
存続させるための手段は。
- 【A 3】
学習機会の提供や地域ぐるみの活動、地域活性化のための活動等、観光の観点や文化財の収蔵、保管機能の利活用を検討する。
- 【Q 4】
存在意義を持ち続け、存続させるためには、少しずつでも年間行事を企画したり、町内の学校への郷土館見学の機会を働きかける等、利用者を増やす方法を具体的に考えるべき。
- また、雨漏り等早急に対処すべき問題もあり、今後、維持・修繕や特に運営体制についての展望は。
- 【A 4】
築後百年を超える建物であり、全体の状態や各部材の状態を確認し、点検しながら課題を検討していく。



▲郷土館